

所沢市立安松小学校 卒業生の皆様へ

このたび、所沢市立安松小学校が開校50年目を迎え、ひとこと、卒業生の皆様へお礼を申し上げたいと存じまして、ホームページへ掲載することといたしました。

本校の歴史を紐解きますと、JR武蔵野線が開通した翌年の昭和49年4月に(仮称)第三松井小学校として誕生しました。当初は校舎も完成しておらず、旧東中学校を借りて、その後、52の公募の中から正式な校名が選ばれ、昭和52年3月に完成したばかりの体育館において校舎落成記念祝賀会が催され、翌年7月にプールが設置されて現在に至る学校の姿となりました。本校は柳瀬川沿いの見晴らしのよい丘上にあり、校地の確保は、本校から現在の東海漬物工場に跨る一帯の土地を所有しておられた新倉家のご協力によると伺っています。児童数650名で開校し、平成7年に分離するまで千人を超える規模を誇りました。本年度までの卒業生の総人数は、6,111名となります。本校の輝かしい発展の歴史は、卒業生の皆様の支えがあってこそと、心からお礼を申し上げます。

さて、皆様に愛された校舎は半世紀を経て老朽化が進み、所沢市の長寿命化計画の対象として改修が予定されています。今後、校地周辺の区画整理が始まると風景も変化します。未来にわたり地域に愛される学校であり続けるよう、教職員一同、鋭意努力してまいります。

結びに、卒業生の皆様のご多幸を祈念いたしまして、お礼の言葉といたします。